



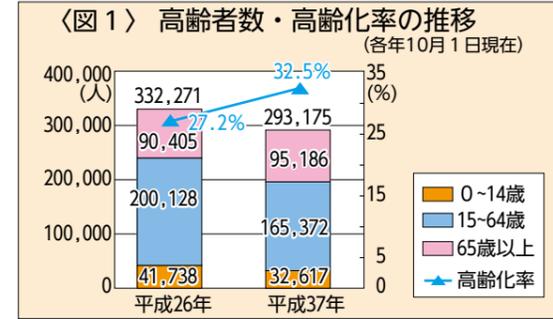
# 第7次いわき市高齢者保健福祉計画を策定

特集

市は平成二十七年三月、第七次いわき市高齢者保健福祉計画を策定しました。本計画は、「団塊の世代」が後期高齢者となる平成三十七年を見据え、「ひとりひとりが安心して自分らしく暮らせるまち」を目指して、「健康寿命の延伸」や「地域包括ケアシステムの構築」に向けた取り組みを進めていきます。

平成三十七年を見据え計画を位置付け

「団塊の世代」が全て後期高齢者（七十五歳以上）となる平成三十七年には、本市の高齢者数は九万五千八百八十六人となり、高齢化率は三十二・五パーセントを超え、およそ市民の三人に一人が高齢者となると推計されます（図1）。市は、日常生活に支援が必要となった高齢者を支えるサービスの充実と併せ、高齢期においても自立した日常生活を営むことができるよう、必要な機能の維持および向上を図ることによ



り「健康寿命の延伸」を目指します。また、住み慣れた地域で、元気に生きがいを持って暮らす

らし続けることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」構築のための取り組みを本格化していきます（図2）。

## 地域包括ケアシステムの構築に向けて

「地域包括ケアシステム」の構築に当たっては、行政のみならず、医療・介護関係者などとの連携のもと、市民参加型の取り組みを積極的に推進していくことが必要です。市は、平成三十七年までに、地域の実情に応じた、



地域包括ケアシステムの構築を進め、高齢者がいつでも元気で長生きできる社会の実現を目指していきます。

お問い合わせ  
長寿介護課  
企画庶務係  
☎22・7453

## 市地域包括ケアシステムの構築に向けた今後の取り組み

8つの取り組みの視点に基づき、施策を推進します。

### 医療と介護の連携強化

- 地域の医療・介護サービス資源の把握
- 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応の協議 など

### 介護人材の確保と育成

- 経営者セミナーの開催支援
- 中高校生等へのアプローチ など

### 高齢者の社会参画の推進

- ボランティアポイント制度の導入
- 新たな就業機会の確保・拡大に向けた支援 など

### 認知症対策の推進

- 早期発見、早期対応ができるシステムの確立
- 本人および家族介護者支援の充実 など

### 生活支援サービスの強化

- 生活支援コーディネーターと協議体の設置
- ボランティア等の支援の担い手養成 など

### 地域ケア会議の充実

- 地域課題の抽出から政策提言までの仕組みの確立
- 生活支援コーディネーターとの連携 など

### 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

- サービスの担い手となる主体の確保
- 多様なサービス提供体制の構築 など

### サービス基盤の整備

- 地域包括ケアシステムの拠点としての整備
- 地域の実情に応じた基盤整備 など

## 高齢者の皆さんを支える取り組みの一例を紹介

### 市シルバーリハビリ体操事業

介護予防意識の醸成と、地域ぐるみで誰もが気軽に介護予防活動に参加できることを目的に「いわき市シルバーリハビリ体操事業」を各地区で行っています。

- 小磯きよ子さん（シルバーリハビリ体操1級指導士）



シルバーリハビリ体操は、自分のペースで無理なく続けられる、安全・安心な体操です。体操教室が地区の交流の場にもなっていますので、気軽に参加してください。



介護予防のためのシルバーリハビリ体操教室

### あんしん見守りネットワーク事業

地域住民が主体となり、一人暮らしの高齢者に対して声掛けなどを行う「高齢者見守り隊」の結成を支援しています。これまでに、23の見守り隊が結成されています。

- 中島千光さん（泉町下川地区高齢者声かけ隊（高齢者見守り隊）隊長）



下川シルバー体操クラブの皆さんと（後列右から3人目が中島隊長）

一人暮らしの高齢者などが安心して暮らせるよう、昨年6月に声かけ隊を結成しました。地域の活動などを掲載した「しもがわ元気だより」を発行し、高齢者宅を訪問し配布するなどの見守り活動を行っています。

